



北っ子

子どもたちを笑顔で迎え 笑顔にさせ
家庭・地域に帰します！

◇教育目標：人・社会・未来へつなぐ Well-being

◇重点目標：学ぶ楽しさを見つけ、よりよい考えを表現できる子の育成

加減と可限と佳源

校長 大野 昌 広

夕方になってもまだ明るく、子どもたちが放課後やご家庭で過ごす時間も、どこか開放的になる時期となりました。そんなご家庭でのひととき、「ゲームばかりやって、いいかげんにしなさい！」「いいかげん、勉強したらどうなの？」などという言葉をついつい我が子にぶつけてしまった……。そんなエピソードに、多くの保護者の皆様が「あるある」と共感されるのではないのでしょうか。「いいかげんに……！」と言葉をぶつけても、なかなか言うことを聞かぬ我が子。日々の暮らしにおける「かげん」というのは、本当に難しいものです。

現代の技術進歩は目覚ましく、保護者や地域の皆様が子どもだった頃からは想像もつかないほど、今の子どもたちを取り巻く環境は一変いたしました。本校でも一人一台端末を活用したICT教育が定着し、子どもたちは日常的にデジタルツールを使いこなしています。その姿には目を見張るものがある一方、健康問題やスマホ依存、ネットトラブル、コミュニケーションの希薄化など、デジタル化の「影」を心配される声も少なくありません。便利さという「光」だけでなく、こうした「影」の部分とも上手に向き合っていくために、今、私たち大人が子どもたちと共に考えていくべき重要なキーワードが「かげん」です。今号では、この言葉に3つの漢字を当てはめ、これからのICT社会における学校とご家庭のあり方についてお伝えします。

■「加減（かげん）」の知恵 ～デジタルとアナログのベストバランス～

一つ目の「かげん」は、度合いを調節することを意味する「加減（かげん）」です。ICT機器やタブレットは、子どもの可能性を広げる魔法の道具ですが、使い方の「加減」を間違えば毒にも薬にもなります。学校では、タブレット端末を「自分の考えを整理する」「友達と意見を共有して深い対話を生み出す」といった場面などで活用しています。その一方で、ノートに鉛筆で文字を書くことや、友達の表情から気持ちを察すること、五感を使って自然と触れ合うといった「アナログな体験」も重視しています。ご家庭におかれても、この「加減」の視点が極めて重要です。「1日〇時間まで」という機械的なルールだけでなく、「何のために使うのか」をお子様と話し合っていたいただきたいと思います。生活リズムに合わせた「加減」を、子ども自身が自律的にコントロールできるよう見守り、導いていくことこそが、家庭教育の大きな役割ではないのでしょうか。

■「可限（かげん）」の安心 ～見守りと制限という、大人からの愛のブレーキ～

二つ目の「かげん」は、安全な範囲を限定して守るという意味を込めて、「可限（かげん）」という言葉に当てはめます。インターネットの世界は、大人の社会と直結しています。まだ判断力が未熟な小学生が、フィルターの無いネットの海に一人で漕ぎ出すのはあまりにも危険です。安全・安心を担保するためには、大人による「適切な制限（フィルタリングやルール設定）」が不可欠です。これは子どもを縛り付けるためではありません。トラブルに巻き込まれることなく、安全な範囲内で「可能性を最大限に発揮」させるためのものです。子どもたちが最も無防備になるのは、放課後やご家庭での時間です。「うちの子は大丈夫」と過信せず、アプリや閲覧サイトの「制限」をご家庭で適切に設定してください。この「可限」のブレーキこそが、子どもを守る最大の盾となります。

■「佳源（かげん）」の育み ～家庭・地域こそが、豊かな心を育む「よきみなもと」～

最後の「かげん」は、優れたもの、美しいものの源泉を意味する「佳源（かげん）」です。ICTのスキルをどれだけ磨いても、それを扱う人間の「心」が育っていなければ、真に豊かな未来は築けません。子どもの豊かな心、人を思いやるあたたかい心は、どこで育まれるのでしょうか。その「佳（よ）き源（みなもと）」こそが、他ならぬ「ご家庭」であり、「地域」です。画面の向こう側の世界がどれほど魅力的であっても、目の前にいる家族とのリアルな会話や、地域の方々からかけられる挨拶の安心感には決してかないません。こうした生身の人間関係の中で愛され、認められる経験こそが、子どもの現実社会を生き抜く根っこを作ります。ご家庭が子どもにとって「佳源」であり続けるために、時にはデジタル画面から目を離し、家族で顔を突き合わせて語り合う時間を大切にしていきたいものです。

■学校と家庭、地域で、子どもたちを育む「最高のかげん」を加減と可限と佳源。

この3つの「かげん」が子どもたちの周りでしっかりと整ったとき、子どもたちはICT機器という翼を正しく使いこなし、未来へ向かって力強く羽ばたいていくことができると確信しています。教育とは、ただ新しい技術を追い求めるだけでなく、大人のあたたかい眼差しで子どもたちを包み込み、その成長を見守る営みです。学校がICT教育を進める一方で、ご家庭や地域には子どもたちの心と生活の根っこを支えていただく。この絶妙な「かげん」を、これからも皆様と共に創り上げていきたいと考えております。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

遠足 (1年生～4年生)

6月10日(水)に予定していた遠足ですが、低温のため延期し、12日(金)に実施しました。しかし、あいにくこの日は雷警報が出ており、急遽、行き先を距離の短い公園に変えて行いました。それぞれの目的地の公園では、遊具で遊び、そして、お弁当も食べるなど、とても楽しい1日になりました。



出前授業 (ごみの収集 4年生)

6月19日(金)に、ごみ減量出前授業を行いました。旭川市環境部クリーンセンターの方が来校し、はじめは教室にて、ごみの量や分別について学習しました。つぎに、玄関前に移動し、実際のごみ収集車を見ながら、車の構造などについても知ることができました。

非行防止教室

6月11日(木)に、非行防止教室を行いました。5年生と6年生が体育館に集まり、講師の方(旭川市こども・女性・若者未来部こども安心課 青少年育成支援員 下出志乃様)の話を聞きました。ネットに関わること、SNSのトラブルなどについて学ぶことができました。



参観日ありがとうございました。

6月の参観日には、たくさんの保護者に来校いただきました。参加率は92.2%、とても高い結果になりました。授業参観では学習の様子、2年生・3年生・4年生は、授業参観後に学年レクリレーションを行いました。ミニ運動会だったり、リレーだったり、新聞をつかったゲームだったり、親子でレクリエーションを楽しむ場面がたくさん見られました。企画の中心となって進めていただいた学級役員の皆様、準備や当日の運営、本当にありがとうございました。



7月の行事予定

- | | | | |
|--------|------------------------------|--------|-----------------------|
| 1日(水) | 交通安全街頭指導
全校集会
手話出前授業4年 | 14日(火) | スクールカウンセラー来校 |
| 2日(木) | クラブ | 15日(水) | 学校諸費引落 |
| 3日(金) | 動物園見学2年
ボランティア実習(最終日) | 16日(木) | 委員会
ベルマーク集計 |
| 7日(火) | ふれあい集会 | 17日(金) | ユニクロ出前授業4年 |
| 9日(木) | 人権教育CAP学習会 | 20日(月) | 海の日 |
| 13日(金) | 夏休み本の貸し出し開始 | 21日(火) | スマホネット安全教室4年
ALT来校 |
| | | 23日(木) | 一学期終業式 |
| | | 24日(金) | 夏期休業開始 |